

学校法人 野上学園の歩み

1985

野上理事長は前職で化学メーカーに勤務。
愛犬「マック」との生活をきっかけに
香川県高松市にペットショップを開業。
後に動物看護の知識や
トリミング技術の必要性を感じ、
「まりりんグルーミング塾」を展開



1995

香川愛犬猫美容看護学院を開校

2001

香川愛犬猫美容看護学院(徳島校)を
徳島市西大工町に開校

2002

「ブレーメン愛犬専門学院」に校名変更

2006

徳島市佐古一番町に新校舎完成



2007

学校法人 野上学園としての認可を取得
「ブレーメン愛犬クリエイティブ専門学校」発足
※2019年に「ブレーメン動物専門学校」へと校名変更



2008

二号館完成



2012

動物業界に真のプロを数多く輩出すること
を目的とし、神戸に姉妹校となる
「神戸ブレーメン動物専門学校」を開校



2013

ハワイ州 州知事と会談



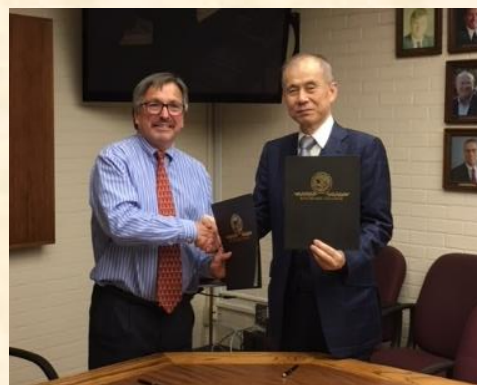
2017

ブレーメンの流れを汲む人材を、
関東から排出することを目的とし、
東京に姉妹校となる
「東京ブレーメン動物専門学校」を開校



2017

アメリカ カリフォルニア州の
モアパークカレッジとの正式提携が実現
履修した科目は相互に卒業単位として
みなされることになりました。



2021

「大阪ブレーメン動物専門学校」を
大阪市福島区に開校



2022

「神戸ブレーメン動物専門学校」 二号館
「東京ブレーメン動物専門学校」 二号館
完成



2022

「ブレーメン動物専門学校」
「神戸ブレーメン動物専門学校」
「東京ブレーメン動物専門学校」
「大阪ブレーメン動物専門学校」
全ての校舎で
国家資格【愛玩動物看護師】の
養成所として指定を受けた
「愛玩動物看護学科(3年制)」を新設



2023

「神戸ブレーメン動物専門学校」 三号館
「大阪ブレーメン動物専門学校」 二号館
完成



2025

「ブレーメン動物専門学校」
「神戸ブレーメン動物専門学校」
「東京ブレーメン動物専門学校」
第3回愛玩動物看護師国家試験にて
合格率100%達成



2026

「ブレーメン動物専門学校」 三号館
「神戸ブレーメン動物専門学校」 四号館
「大阪ブレーメン動物専門学校」 三号館
完成



野上理事長の活動実績

自治賞について

野上理事長は長きにわたり教育事業に携わり、専門学校の運営を通じて各地域社会に貢献、平成 29 年には兵庫県知事より「自治賞」、徳島県知事より、「感謝状」を頂きました。



海外交流について

トリミングにおいては、国際グルーマーライセンス認定委員として日本国内だけでなく、世界各国で開かれるグルーミング大会の審査委員長として毎年活躍しております。日本社会福祉愛犬協会理事、KCUA(アジア育犬連盟)理事、兵庫県専門学校各種学校連合会理事も歴任。また台湾で出版される書籍にも携わり、日本におけるトリミング界の第一人者として、台湾海洋科技大学の林美伶著“玩美寵児”や、同大学の張維志著、“寵物居家保険按摩原理”等各書籍の推薦文を依頼され、執筆しております。アバクロンビーハワイ州元知事やアメリカモアパーク大学サンチェス学長との交流もあり、野上学園は世界へ向けての発展のため精進しております。



アプローチ会について

動物に関わる活動はもちろんの事、個人でも様々な活動をしております。
現在社会問題として捉えられる自殺について、自殺防止を目的とした団体、「アプローチ会」に理事として所属し、厚労省自殺防止会議に出席するなど日々活動しております。



アプローチ会(Approach For Life Saver)とは・・・

2009 年設立認可された自殺防止を目的とした特定非営利活動法人です。
色々な職種の人が参加し、様々な活動を行っています。

地域とタイアップした活動や、メンタルを考え強化する冊子を作って配布し、自殺社会で苦しむ人々を救いたい、という思いから発足されました。

＝アプローチ会での活動実績＝

講演：

「思春期公開講座」

「登校拒否児について考える」

「アニマルセラピーの効用について」

「多感な思春期のメンタルヘルス」

「メンタルヘルスを万全にする人と人とのつながり」

「うつ病について」

「コミュニティにおけるコミュニケーションを考える」

書籍：

「うつ病克服のための必須アイテム」

「しなれんでよ」



寄稿：

「グッドエイジング コミュニティの一員としてのペットと共に楽しく生きる」

「あなたのメンタルランド 自分の中で眠っている素晴らしい自分に出会うために」

「みんなのメンタルヘルス ～自殺防止のために～高齢者の生物学的特徴」

「人生 100 年 長寿のための応援歌 ペット療法」

出演番組：

「NHK6 時のニュース」

「なるほど珍百景」

朝日新聞、徳島新聞、神戸新聞等 掲載多数



学校法人 野上学園の歩み

学校犬について

ブレーメンを語る上で忘れてならないのは、学生と一緒に成長してきた学校犬の存在です。

ブレーメンが初めて学校犬として迎え入れたのは
アメリカンチャンピオンの“ウィルバー”です。
当時あまり見ることができない良血統のウィルバーから、
学生たちは多くのことを学ばせてもらいました。



次に、ブレーメンを大きく飛躍させてくれたオーストラリアンチャンピオンの
血統の“ビスキー”とその1年後にやってきた“ポピン”です。
この二頭は13年もの間、ある時はドッグショーやトリミング試験に向けての
勉強で、ある時はトレーニング犬としてたくさんの学生と共に学び、卒業生を
送り出しました。スタンダードプードルの知能は3才児レベルだと言われ
ますが、学生にとっては親友であり、時には学生のお弁当をロッカーから
取り出して勝手に食べたり(笑)学生と一緒に成長しました。



ビスキーが13才で亡くなった時は、
大勢の卒業生が花束を持って
駆けつけてくれ、涙、涙のお葬式となり、
こんなにたくさんの方が参列するペットの
お葬式は初めてだと葬儀業者様も
感動されておりました。

しっかり者のビスキーを姉と慕い、いつも一緒だった1才年下のポピンは、
後を追うように半年後に息を引き取りました。

また、ビスキーの血をひくラポピーが徳島校で
学校犬として活動していましたが、
2019年に息を引き取りました。

神戸校ではチワワのちくわが元気に活躍中です。



ブレーメンの使命である、「動物から生きる知恵を学ぶ」はこの学校犬たちにより、教えられた事が多いです。学校犬たちのおかげで今のブレーメンが存在すると言っても過言ではありません。